

## BICYCLE CITY KYOTO !

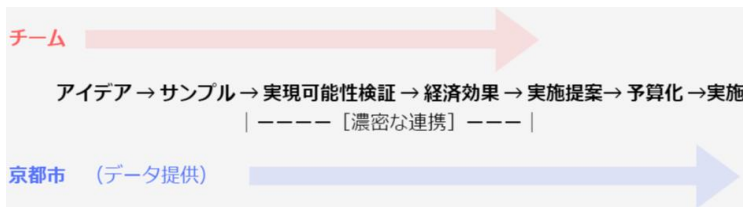
### 京都市を「自転車優先のまち」に変えていく ～ 一大事業の始まり ～

#### OUTLINE

- ・提案の目的と計画推進のための方針
- ・計画の全体像
- ・京都市の現状
- ・ヨーロッパに学ぶ
- ・個々のアイデア
  - A. 自転車のための町並みの改善と専用マップ
  - B. 安全で利便性の高いシェアサイクルと  
サイクルステーションの設置
  - C. 見やすい標識と交通安全意識の向上
- ・経済効果と環境への配慮
- ・実施へのロードマップ
- ・今後の進展とまとめ

#### 01. 目的と計画推進のための方針

京都市を「安全」で「やさしい」まちに！  
行政（京都市）との協調と2回のバトンタッチ！



#### 02. 京都市の現状

宿泊者数 1,415 万人（2016 年）  
海外からの観光客数は過去最高を記録  
それに伴う、京都市内の交通機関の混雑化  
⇒自転車を活かした「自転車優先のまち」へ

#### 03. ヨーロッパに学ぶ

[フランス] 

公共レンタルサイクル Vélib（ヴェリブ）  
年中無休、24 時間営業  
返却スポット 1,700 か所以上、  
23,000 台の自転車を保有

[オランダ] 

- ・レッドカーペット政策  
歩道確保のためにレッドカーペットを敷く
- ・ハチミツ政策  
どこに駐輪してもよい

#### 04. 自転車のための町並みの改善と専用マップ

持ち込み、レンタルサイクルを使用して、

全 4 回に及ぶ実地調査

豊国神社周辺エリア（東山区）[40 万平方メートル]  
を対象に、町並み改善の提案と専用マップの作製  
＜町並み改善＞

京都特有の道路事情により、狭い路地が多く、  
見通しも良くない

- ◎カーブミラーの設置 ◎電柱の埋設化
- ◎自転車専用標識・標示

＜専用マップ＞

実地調査データに基づいて、道路幅や交通状  
況によって色分け

視覚的にわかりやすい自転車専用マップの作製

#### 05. 安全で利便性の高いシェアサイクルと

サイクルステーションの設置

＜安全で利便性の高いシェアサイクル＞

後方視認性向上

- ◎ミラー ◎ウィンカー、ブレーキランプ

夜間時のアピール向上

- ◎補助ライト、ホイールライト

快適性向上

- ◎スマホホルダー◎モバイルバッテリー

＜サイクルステーション＞

自転車利用者が安心・快適・便利に利用できる  
空間づくり

- ◎屋根 ◎ベンチ ◎給水設備 ◎空気入れ
- ◎充電ロッカー ◎太陽光パネル ◎移動式

## 06. 見やすい標識と交通安全意識の向上

### <見やすい標識>

道路上の標識の明確化、自転車専用の標識

**五角形 + ベンガラ色** (京都市自転車走行環境

ガイドラインによる色)

### <交通安全意識の向上>

ポスター・パンフレットの作成

学校などの公共施設、免許センター、警察署での配布

公共交通機関へのラッピング

取り締まりの強化

## 07. 経済効果と環境への配慮

### <産業連関表による経済効果>

仮定：製造業 3.75 億円、建設業 1 億円の最終需要が発生

[第一次波及効果]

生産誘発額：約 1.6 億円 (逆行列係数×対角自給行列×最終需要ベクトル)

[第二次波及効果]

※初めに第二次波及効果の最終需要ベクトルを求める

⇒第一次波及効果による誘発雇用者所得額：産業毎の生産誘発額×雇用者所得係数より約 0.5 億円

⇒誘発雇用者所得額が実際に消費に回る額 (最終需要ベクトル)：約 0.29 億円 (雇用者所得額×消費転換係数より)

⇒生産誘発額：約 0.2 億円 (逆行列係数×対角自給行列×最終需要ベクトル)

◎波及効果の結果：生産誘発額 1.8 億円

### <環境への配慮>

・約 465 万人が観光でレンタカーを使用 (2016)

⇒ワシントン+ミネアポリスで行われた社会実験結果のように、42%の人が自動車利用を減少させると約 195 万人分の自動車利用の減少

・ガソリンのCO<sub>2</sub>排出量：約 1.65kg (／1人1日)

⇒195万人×1.65kg=年間 321 万 kg CO<sub>2</sub>削減

・排出量取引：(CO<sub>2</sub> 1kgにつき約 840 円)

⇒321 万 kg×840 円÷27 億円の経済効果

## 08. 実施へのロードマップ

	2017			2018											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
自転車のための街並みの改善と自転車専用マップの作成	限定地区における実地調査・改善ポイントの整理														
	専用マップの作成														
				京都市関係部局への提案											
	調査範囲の拡大・予算化・実施計画														
安全で利便性の高いシェアサイクルの提供とサイクルステーションの設置	自転車への安全装備の実装														
	サイクルステーションのデザイン														
				京都市関係部局への提案											
	調査範囲の拡大・予算化・実施計画														
交通安全意識向上運動と自転車専用標識	自転車標識やポスターをデザイン														
				自転車専用標識の設置											
	自転車専用標識の設置														
	標識やポスター以外の自転車安全向上運動														

## 09. 今後の進展とまとめ

- ・京都市を安全で「やさしい」まちに！
- ・徹底した実地調査とサンプル作り
- ・行政との2回のバトンタッチで実現へ
- ・そして、日本全国への広がり

《京都市から》

学生さんならではの行動力と発想で、独自に素晴らしいアイデアをまとめていただきました！私たち行政も、現時点での考え方や取組、計画などとの兼ね合いを図りながら、熱意あるアイデアをどう活かしていけるかを、これから共に議論していければと思います。

チーム BICYCLE CITY KYOTO !

石井 亮/岡本 菜那/川崎 駿/塚本 美月/前田 光毅/山田 海斗 (龍谷大学 経済学部 西本ゼミナール 2,3年生)

2017 CHALLENGE OPEN GOVERNANCE MAR 4, TOKYO